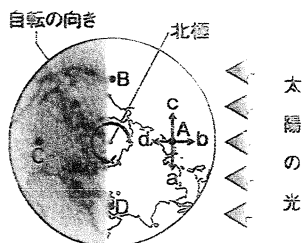


18	地球と宇宙 太陽と星の一日の動き	氏名	得点 点
----	---------------------	----	-------------

1 〈地球の自転と方位〉 図は、地球の北極側から見たときの、地球と太陽の位置関係と地球の自転を表したものである。図のとき、日本はA地点にある。次の問いに答えなさい。

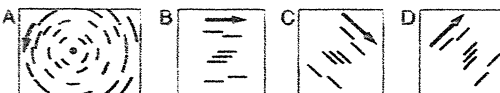


- (1) A地点において、a, dが表している方位は、それぞれ東・西・南・北のどれか。
- (2) A地点にある日本は、次のうちいつごろか。ア～エから選び、記号で答えなさい。
ア 日の出 イ 日の入り ウ 正午 エ 真夜中
- (3) 地球が自転して日本がB地点にくるのは、図のときからおよそ何時間後か。
- (4) 地球が自転して日本がDの位置にきたとき、太陽が見える方位は、東・西・南・北のどれか。

(1)	a 西	③
	d 北	②
(2)	ウ	②
(3)	6時間後	③
(4)	東	③

2 次の問いに答えなさい。

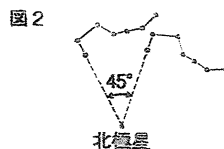
- (1) 図1は、日本のある地点で、東・西・南・北



- の空の星の動きを一定時間記録したもので、矢印は星の動いた向きを表している。A～Cは、それぞれどの方位の空の星の動きを記録したのか。
- (2) 次の①、②の文の()に当てはまる言葉は何か。②では、東から西、西から東のどちらかで答えなさい。

- ① 星の1日の動きを観察すると、北の空の星は、(㉓)星(天の北極)を中心として、1時間におよそ15°の割合で(㉔)回りに回転しているように見える。
- ② 星の動く向きは方位によってちがうが、空全体では、地球の地軸を延長した軸を中心として、星のはりついた天球が(㉕)へ1日に1回転しているように見える。これは、地球が地軸を中心として、1日に1回、(㉖)へ自転していることによって起こる。

- (3) 図2は、北の空に見えた北斗七星を、時間において2回観察したときの位置を記録したものである。このとき、何時間おいて観察したか。



(1)	A 北	①
	B 南	①
	C 西	①
	① ㉓ 北極	②
	② ㉔ 反時計	①
(2)	③ ㉕ 東から西	①
	④ ㉖ 西から東	①
(3)	3時間	②

19	地球と宇宙 天体の 1 年の動き	氏名	得点 点
----	---------------------	----	---------

1 次の問いに答えなさい。

- 地球が 1 年に 1 回太陽のまわりを回転する運動を地球の何というか。
- 星座や太陽の 1 年の見かけの動きを何というか。
- 同じ時刻に見える南の空の星座の位置は、日がたつにつれて、東、西のどちらに動いていくように見えるか。
- 同じ時刻に見える南の空の星座の位置は、1 日に約何度ずつ東から西へ動いていくか。
- 天球上の太陽の通り道を何というか。

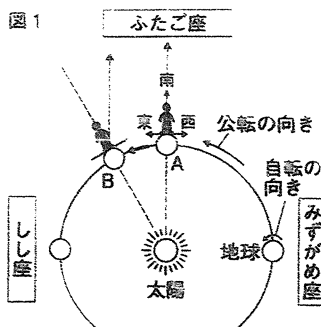
1 (各 4 点 × 5)

(1)	公転	③
(2)	年周運動	②
(3)	西	③
(4)	1°	②
(5)	黄道	②

2 次の問いに答えなさい。

- 地球は 1 年(12 か月)で 360°太陽のまわりを公転する。地球が 1 か月に公転する角度は何度か。

- 図 1 は、太陽のまわりを公転する地球と、3 つの星座の位置関係を、地球の北極側から見て模式的に表したものである。

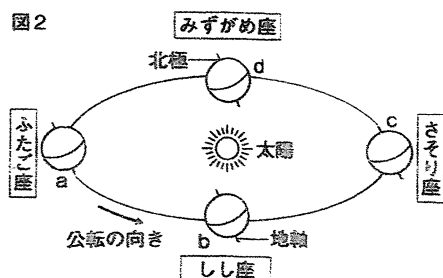


- 次の文の④・⑤の()に当てはまる星座は、図 1 のどれか。

地球が A の位置にあるとき、真夜中の南の空には(④)が見える。このとき東の空には(⑤)が見える。

- 地球が 1 か月で A から B まで動いたとき、A で南の空に見えた星座は、B では東、西のどちらの方向に約何度移動して見えるか。

- 図 2 は、太陽のまわりを公転する地球と、黄道付近にある 4 つの星座の位置関係を模式的に表したものである。次の文の①～③の()に当てはまる星座は、図 2 のどれか。



地球が a の位置にあるとき、太陽は(①)の方向にある。また、地球が b の位置から c の位置に公転すると、太陽は黄道上を、(②)の方向から(③)の方向に動く。

2 ((2)②各 3 点 × 2, 他各 4 点 × 6)

(1)	30°	②
①	④ ふたご座	①
	⑤ しし座	③
(2)	方向 西	①
	角度 30°	①
①	さそり座	①
(3) ②	みずがめ座	①
	③ ふたご座	①